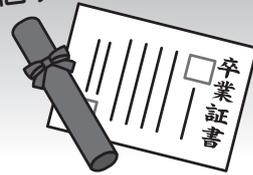


東京都個人タクシー協会 会報

乗って安心個人タクシー



平成25年
3月号

第8回 理事会の 焦点

お客様の立場にたった 取り組みを積み重ねて

開催日時 2月15日（金） 午後1時

場所 日個連会館

議題 臨時総会提出議案の検討

理事会の冒頭、木村会長より、現在の業界を取り巻く最近の状況及び、今後取り組むべき諸問題に関して、次のような話がありました

ユニバーサル ドライバー研修について

全国福祉輸送サービス協会が長年続けている、ユニバーサルドライバー研修（以下、UD研修）ですが、全個協でもそれぞれの支部レベルでUD研修の講師を養成し、講師の方にはその支部で講習をしてもらうという取り組みをはじめ、費用を負担するという通達も出ています。この件に関連して、先日の全福協・全タク連主催の懇親会の席で武藤自動車局



「厳しい状況下、最善策を見極めて取り組んでいきましょう」と語る木村会長。

長からは「東京ではUD研修についてタクシーセンターでやっていったらどうか」とお話をいただいております。ありがとうございますことだと思っております。タクシーセンターで4人ほど講師を養成し、その講師が研修を行なう方針だそうです。介護タクシーや観光タクシーの資格として考えるだけでなく、「おもてなしの心」を磨くためにも、これらを有効活用して行ってほしいものです。実現した際には、ぜひご理解・ご協力をいただきたいと思っております。

忘れ物の処理について

現在は忘れ物があった場合、タクシーセンターで遺失物の受付、拾得連絡の受付を実施していますが、タクシーセンターとしては本来の事業ではないという認識があるようです。法人の場合は、夜

一般社団法人移行に関して

中であっても会社に電話をかければ対応が可能にもかかわらず、個人の場合は支部に電話をかけても翌日もしくは休み明けまで連絡がとれない、ということも起こりうる現状です。これは個人タクシーのウィークポイントでありますし、今後各団体で取り組むべき課題として視野に入れていかなければと考えます。

3回に渡って開かれた特別委員会では、会員の公平な取扱いを検討するということと、東京からはこの件に関して「合理的に考え客観的に不平等でないこと。公平性や選出ルールなど、一番大事なことは法人内部での合意があること。」等、見解をいただきました。これらも今後の議論への参考となればと思います。会員の皆さんの将来を考え、同じところとどまらず、前進できるように、どうぞ宜しくお願いたします。その後、活発な質疑応答と議論が行われ、議題は可決承認されました。

都内個人タクシーの現況（平成25年2月1日現在）

許可事業者数	15,661名	(前月比-51名)
(特別区、武三)	15,194名	北多摩182名 南多摩285名
傘下事業者数	15,409名	(前月比-49名)
(特別区、武三)	14,944名	北多摩181名 南多摩284名

接客マナー・コンテスト (準本選会)

感謝の言葉に「おもてなし」を込めて

2月20日(水)午後1時より、日個連会館において(社)東京都個人タクシー協会主催の「接客マナー・コンテスト(準本選会)」が開催されました。各団体の予選会で選ばれた14名の事業者が参加し、9名が関東支部本選会の東京代表に選ばれました。

出場者はそれぞれ1分間の自己PRと、5分間のロールプレイング(お客様を迎えてから、目的地到着まで)を行いました。ロールプレイングでは、身だしなみから接客対応、気配りの所作などの審査が行われ、出場者は緊張した面持ちではありましたが、日頃から大切にしてきた「おもてなし」精神を披露し、会場からは惜しみない拍手が送られました。

東京代表の事業者の声

都営協・交友支部

野寄正彦さん

実際にロールプレイングをしてみても、確認し忘れていた箇所もあり改善の余地があるなと痛感しました。普段からお客様への声掛けはしていますが、今回気になった部分も含めてさらに研鑽し、関東大会へ向けて頑張っていきたいと思えます。



結果発表の後、審査員でもあったインストラクターの山脇あき子さんから「コンテストも回数を重ね、各自のレベルがアップしてきたなかで、今後は細かい所まで大切になります。ご協力への感謝の言葉、今一番優先すべきことの的確な判

【東京都代表 推薦者名】 ※敬称略

- 高橋 薫 (東個協・北)
- 岡上定生 (東個協・品川第一)
- 井上賢太郎 (東個協・豊島)
- 長谷川洋 (東個協・野方)
- 古賀正輝 (東個協・南多摩)
- 野寄正彦 (都営協・交友)
- 丸山光明 (都営協・第一事業団)
- 宇治野文彦 (多摩個連)
- 内田雅彦 (全個人・東日本)

以上9名

譲渡譲受認可書交付式

新しく142名の事業者が誕生

スタートラインに立った気持ちをお忘れずに

2月19日(火)午後3時より、個人タクシー会館にて関東運輸局による「個人タクシー譲渡譲受認可書交付式」が行われ、東京では新たに142名(特別武三135名・北多摩2名・南多摩5名)の事業者が誕生しました。

認可者の喜びの声

一国一城の主として

水橋達也さん

(40歳/東個協・渋谷支部)

個人事業主であった父を超えたい、一国一城の主になりたい、そんな思いで個人タクシーを目指しました。「無事故、無違反、忘れ物ゼロ、苦情ゼロ」この4つを掲げて、「個人タクシーにまた乗るよ」と言われるように精進していきたいです。



はじめに、関東運輸局東京運輸支局伊藤藤次長より「これから日々営業するにあたり、それぞれが自覚と誇り、また自信を持って営業にあたってください。そして業界の模範として先人が築き上げた、この個人タクシー事業の更なる発展に貢献されることを期待しています。時代と共に、必要な情報やお客様のニーズも変化していくなか、能力を高める努力を決して怠らず、お客様から信頼される事業者として、頑張ってください」との激励の挨拶があり、その後、事業者一人ひとりに認可書が交付されました。

みつ星ドライバールを目標に

木血臣一さん

(64歳/都営協・亀戸支部)

試験合格のために寝る間も惜しんで勉強をしたので、受かった時はうれしかったです、家族や先生方も大変喜んでくれました。これからは基本動作を忘れず、安全運転に努め、マスターズ制度でみつ星をいただけるよう、頑張りたいと思います。



東個協・野方支部

長谷川 洋さん

コンテストに挑戦することで、今まで意識をしていなかった部分にまで気づけたりできるようになり、いきつけかけになっていると思います。個人タクシーしかできない「おもてなし」を先輩から引き継ぎ、後輩の見本となれるよう示す場として心してやりとげたいと思えます。



「自己研鑽に努め、輸送の安全を心がけてください」と伊藤次長

個人タクシー利用者感謝の日キャンペーン」当選者発表

ご協力、ありがとうございます！

昨年12月1日から21日までの3週間にわたり行われた、北東北の有名温泉旅館ペア宿泊券などが当たる「個人タクシー利用者感謝の日キャンペーン」。応募総数1万1956通のなか、715名のお客様と415名の事業者の当選が決まりました。ここでは「マスター賞」に当選した方々の声を一部ご紹介いたします。

★マスター賞

— お客様 —

- 北東北くつろぎの旅（ペア）
 - 永田 誠様 (千代田区)
 - 榎本理絵様 (江戸川区)
 - 阿部恵美子様 (大田区)
 - 小谷君江様 (大田区)
 - 横山麻里様 (練馬区)
 - 前林光夫様 (練馬区)
 - 天野弘幸様 (練馬区)
 - 佐藤哲夫様 (町田市)
 - 佐藤 薫様 (川崎市)
 - 白石康雄様 (横浜市)
 - 小暮正明様 (松戸市)
 - 藤田文吾様 (松戸市)

— 事業者 —

○デイズニーリゾートパスポート

- 富田光徳さん (東個協・板橋第一支部)
- 橋本淳一さん (東個協・新宿支部)
- 加藤邦男さん (東個協・杉並支部)
- 西村和夫さん (東個協・墨田支部)
- 工藤進二さん (東個協・城南支部)
- 佐藤勝二さん (東個協・城南支部)
- 石川正紀さん (東個協・城南支部)
- 中静利往さん (都営協・足立支部)
- 武田雅二さん (都営協・千住協組)
- 小山 稔さん (都営協・東京北支部)
- 高良榮謙さん (都営協・第一事業団協組)
- 三浦富治さん (都営協・新興協組)

お客様の声

これからも個人タクシーを乗り続けます

前林光夫さん

月一回の病院への通院のために個人タクシーを利用しています。近所に個人タクシーの方がいて、お願いすることも多いのですが、こういうキャンペーンは知らなかったです。運転手さんに「ぜひ応募してください」と言われ、何気なく送っ

とても気持ちの良い対応でした

阿部恵美子様

個人タクシーは乗り心地の良い車両も多く、できるだけ選んで乗っています。今回

事業者の声

会話のきっかけにもなりました

東個協・城南支部 工藤進二さん

お客様にキャンペーンの話をすると、思いのほか興味を持ってもらえました。特に長距離の方は「みつ星って?」「マスターズ制度ってどんな制度なの?」と話が弾むことも。個人タクシーのドライバーとして、マスターズ制度を広める手伝いのできたとしたなら、大変うれしく思います。当選された方とともに、これをきっかけによい一年となればと思います。

個人タクシーのイメージアップに

都営協・足立支部 中静利往さん

当選したという話を聞き驚きましたが、支部の皆さんが当選をとっても喜んでくれてうれしかったです。この厳しいご時世、個人タクシーの良い話がぼつぼつとある中で、少しでも良い感情を持つていただき、選んでもらえるきっかけになればと思います。応募ハガキを読んで応募してくれたお客様に感謝とともに、このキャンペーンに関わったすべての人に感謝したいと思います。

計報

*1月

氏名	所属団体	享年	病名
櫻井文隆	(東個協・大田第二)	57歳	心不全
土橋公成	(東個協・葛飾第二)	41歳	心不全
須田慶治	(東個協・練馬)	74歳	骨髄腫
村井元延	(都営協・城北)	66歳	膀胱癌
荻田博	(都営協・民主)	64歳	肝臓癌

ご冥福をお祈り申し上げます

■不適正営業集計表 (街頭営業適正化指導規程)

(件)

発生日	警告事案	講習事案	処分手案	合計
平成24年12月	50	8	8	66

■処分手案対処報告書 (街頭営業適正化指導規程)

平成25年1月報告分

会員	団体名	氏名	発生日	発生場所	対象行為	加重	処分内容
東個協	練馬支部	I・K	平成24年11月13日	千代田区内幸町1-1	事業者乗務証裏表示		表示灯使用停止 精算停止 無線営業停止
都営協	新東京協組	S・H	平成24年8月28日	新橋駅東口吉野家前	進入禁止無視		表示灯使用停止 換金停止
都営協	第一事業団協組	Y・A	平成24年11月14日	千代田区有楽町2-3	乗り場無視		表示灯使用停止 換金停止

*処分手案は東個協・都営協に処分を要請し、平成25年1月中に処分内容の報告があったもの
*加重とは、処分手案としての処理が2回目以降となる場合です

平成25年12月1日更新者の事業者研修会日程表

■場所	メルパルクホール	■開始時間	12時45分	合計	3,555名
開催日	団体名				
平成25年 5月9日(木) 更新日現在 72歳以下対象	足立第一支部 (67名) 江戸川第一支部 (68名) 葛飾第二支部 (69名) 品川第二支部 (34名) 杉並支部 (57名) 都心支部 (23名) 葛飾支部 (21名) 新運転協会 (9名) 豊玉支部 (3名)	足立第二支部 (77名) 大田第一支部 (60名) 北支部 (80名) 品川第三支部 (29名) 世田谷第一支部 (52名) 豊島支部 (36名) さくら協組 (19名) 都民同盟支部 (10名) 事業団支部 (94名)	荒川支部 (61名) 大田第二支部 (19名) 北第二支部 (33名) 渋谷支部 (39名) 世田谷第二支部 (26名) 東部協組 (34名) 東支部 (48名) 東京西北支部 (17名) 新東京協組 (23名)	板橋第一支部 (87名) 葛飾第一支部 (63名) 品川第一支部 (18名) 新宿支部 (61名) 世田谷第三支部 (27名) 東京北支部 (16名) 小岩支部 (17名) 自交総連支部 (16名)	
5月21日(火) 更新日現在 72歳以下対象	中野支部 (29名) 目黒第一支部 (25名) 杉並第二支部 (39名) 野方支部 (29名) 足立支部 (46名) 江東支部 (21名) 千住協組 (24名) 亀戸支部 (18名) 町田協会 (2名) 東京相互協会 (15名) 江戸川協組 (40名) 全個人協議会 (9名)	練馬支部 (97名) 目黒第二支部 (15名) 新東京支部 (104名) 練馬第二支部 (33名) 城北支部 (76名) 石神井支部 (35名) 東京新足立協組 (9名) 友和支部 (23名) 第一事業団協組 (91名) 東京旅客協会 (34名) 東優協会 (4名)	文京第一支部 (24名) 武三支部 (47名) 墨田支部 (68名) 南多摩支部 (19名) 交友支部 (16名) 双和支部 (25名) 東陽支部 (11名) 全東京協組 (25名) 板橋支部 (56名) 東京都民主協組 (9名) 東日本協組 (37名)	文京第二支部 (26名) 墨東支部 (66名) 城南支部 (39名) 北多摩支部 (25名) 新中野支部 (33名) 朋友支部 (25名) 浮間支部 (2名) 第一多摩協組 (1名) 四〇支部 (27名) 新興協組 (16名) 南多摩協会 (1名)	
6月6日(木)	高 齢 者 研 修 会				
	満73歳以上(期限更新日現在)の方は、上記団体指定日ではなく、この日に受講していただきます。				



大きな会議室に購買コーナーも完備したビル。



事務員のみなさん



左から松山副支部長、千田支部長、池田副支部長、岸交通共済・無線部長、森総務部長

東京ぐるり 支部紹介 第48回

東京都個人タクシー協同組合 練馬支部 (所在地:練馬区早宮)

行動力にあふれる支部は「日本一」がほしい

「支部員数の多さだけでなく、設備やきめ細やかなサービスとフォロワーも日本一だと自負しています」と語る千田支部長。100人規模の会議が開ける会議室をはじめとした2つの建物を使い、NASVAの適性診断の導入や健康診断の実施など、支部に車で来ると、ほとんどの用事が済む体制が整っています。組合サービスは多岐に渡り、なかでもホームページは、組合員連絡、勉強会、クラブ活動情報など、誰もが最新の支部情報を手に入れることが可能。失敗を恐れず、新しいものを取り入れ改善する意欲を全体で共有することは、支部の存在力をアップさせる好例と言えます。

加えて、「夫婦ドライバー数が日本一というのも、女性に優しく仲が良いこの支部の自慢なんです」という森総務部長の言葉通り、終始和気あいあいとした雰囲気支部訪問となりました。

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

なんでもトピックス

“マスターズ音頭”

日野元副支部長が作詞された“マスターズ音頭”。歌手でもある支部員の吉原勇夫(芸名:吉原 勇)さんが歌うこの曲は、カラオケ大会や4年前に両国で行われた50周年フェスタでも歌われています。個人タクシーを盛り上げるため、これからも歌い続けたい名曲です。

